

教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

1 日 時

平成20年10月23日(木)

開会 9時30分

閉会 10時00分

2 場 所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 丹保健一委員長、竹下譲委員、井村正勝委員、山根一枝委員、向井正治教育長

欠席者 無し

4 出席職員

教育長 向井正治(再掲)

副教育長兼経営企画分野総括室長 鎌田敏明

教育支援分野総括室長 真伏利典 学校教育分野総括室長 松坂浩史

社会教育・スポーツ分野総括室長 杉野周二 研修分野総括室長 山中良明

経営企画分野

教育総務室長 平野正人生

社会教育・スポーツ分野

スポーツ振興室長 村木輝行 スポーツ振興室主査 岩出卓

5 議案件名及び採決の結果

なし

6 報告題件名

件 名

報告1 第63回国民体育大会の総合成績について

7 選挙

選挙1 教育委員長の選挙について

選挙2 教育委員長職務代理者の選挙について

8 審議の概要

・開会宣告

丹保委員長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・前回教育委員会(平成20年10月9日開催)審議結果の確認

前回定例会審議結果の内容を確認し、全委員承認する。

・議事録署名人の指名

井村正勝委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

選挙1、選挙2について、非公開にて審議することを承認する。

会議の進行は、公開の報告 1 を報告した後、非公開の選挙 1、2 を行うことを確認する。

・ 審議内容

報告 1 第 6 3 回国民体育大会の総合成績について（公開）

（スポーツ振興室長説明）

第 6 3 回国民体育大会の総合成績について、別紙のとおり報告する。

資料の 1 ページをご覧ください。第 6 3 回国民体育大会につきましては、本年 1 月 2 6 日から長野県で開催された冬季大会を皮切りに、9 月 2 7 日から 1 0 月 7 日まで大分県で開催された本大会で全日程を終了しています。本県から、延べ 4 1 3 名の選手、監督、役員が 3 4 の競技に参加をしました。総合成績につきましては、男女総合成績、天皇杯 4 0 位、女子総合成績、皇后杯 4 4 位という結果でした。この結果につきましては、平成 1 7 年度以降維持していました 3 0 位台を維持できませんでした。

なお、本大会におきましては、教育長にも激励をいただきました。入賞者につきましては、団体は 1 ページに、個人は 2 ページに記載をさせていただきました。特に団体におきましては、ラグビーフットボールでホンダヒートの優勝、並びに少年の部におきましてはテニス競技で三重選抜が優勝しました。団体 2 位のテニス競技の成年男子三重選抜は、昨年優勝、今年 2 位と安定した力を発揮しています。

3 ページは、過去の大会を含めた順位の推移を記載しています。今年の成績を受けまして、次年度以降再び 3 0 位台以上をもたらせるような体制を作ることを目的としまして、今後、本県の関係競技団体などと分析等を行い、一層の取組を行っていききたいと考えています。以上です。

【質疑】

委員長

報告 1 はいかがでしょうか。

井村委員

昨年だけではないのですが、過去と比べると大体どこが悪くて、どこが良かったのですか。

スポーツ振興室長

今年の特徴的なことは以前の定例会でもご報告をさせていただいたと思うのですが、まず、東海ブロック大会の突破が非常に厳しくなっています。これは、国体改革で出場枠が 1 5 パーセント削減されていて、昨年 3 6 8 名出場していましたが、今年は 3 0 9 名に減少をしていますので、そういった面からもブロック大会を突破していくという、まずそのところで入賞出来る可能性が低くなっていると考えています。

委員長

そういう意味では、他の県も同じ条件ですよ。それはちょっと理由になるのかなと思うのですが、それはいかがですか。

スポーツ振興室長

1 5 パーセントの削減は同じですが、東海 4 県のブロック大会からの突破ということになりますと、今までは、例えば 4 県で 2 チーム出られていたのが 1 県に減らされているということがあります。三重県は、愛知、岐阜、静岡という、強豪の県と予選を戦っているという意味で出場する人数がどうしてもそこで減らされていると考えています。今後は何とか東海ブロックを突破できるようなところを重点的に考えていきたいと思えます。

井村委員

東海ブロックを突破できるとすれば、結果的にかなり上位へいけるということだね。

スポーツ振興室長

東海ブロックを突破しますと、4 0 パーセントの確率で入賞をしています。これは他の静岡、岐阜、愛知も同じような状況ですので、ブロックさえ突破すれば相当高い確率で入賞できるということが言えると思います。

委員長

ブロックに強い強豪がいて、出場する機会が得られないということですね。分かりました。

竹下委員

ちょっと待って。この成績を見ますとね、確かに愛知は強いですが、岐阜、静岡ということになってくるとそれほど強くない。中堅どころというか、1 7 位と 1 9 位ですからね。そうなると三重県はそれを突破すればこの順位ということは言えるかも分かりませんが、ちょっと今の説明では納得しにくいような気がします。そんなに東海地区のレベルが高いということも言えないのではないのでしょうか。全国的に非常にレベルが高いということになるのですか。

スポーツ振興室長

全国的には高いレベルと考えられると思います。本県の場合、企業スポーツが以前に比べて力が若干落ち

てきています。今回ホンダヒートが優勝していますが、そういった企業で抱えていた競技種目等が若干力を落としてきています。その分クラブチームとしましては、花しょうぶのハンドボールや、くノ一のサッカーがあるわけですが、これもなかなか強化が進んでいないという現状ですので、一つには企業チームという部分も大きな要素であるかなと考えています。

委員長

ほかによろしいでしょうか。

竹下委員

関東地方というのは、全部の県が良いですね。関東は特に企業なんかが集まっていますから、強豪揃いだと思いますが、すべてのチームの成績が上というのは今の説明からいくとちょっと納得できません。一つぐらいはかなり悪いところがあってもいいような気がするのだけれども。

スポーツ振興室長

一概に言えるかどうかはありますが、関東だけに限らず、安定的に高い順位を推移する、つまり20位以内で推移しているところは、一つは企業のチーム、そして、地元の大学生の活躍も要素としてあるかなと考えています。

竹下委員

それは理解できるのですが、結局のところ、関東ブロックも制限されるわけでしょう。そうすると、関東の中で弱い県は多くの選手が出場できないから三重県と同じように低い順位でもいいはずだと思うんだけど、そうではない。そうなってくると、三重県も何か別の方法で頑張りどころがあるんじゃないかなという気もするんですけども、そういう分析は出来ないのですか。

スポーツ振興室長

今のご意見を参考にさせていただきながら、分析、検討をしたいと思います。

竹下委員

あきらめの論理でなくお願いします。

スポーツ振興室長

分かりました。

井村委員

お金の問題も当然あるでしょうし、どこまで出来るか分かりませんが、全体的にやるよりも、突出させて、ポイントで力を付けていくため、そこに指導者を求めていくとか、そういう工夫が必要です。

スポーツ振興室長

お家芸的な競技種目を持っている県があります。例えば、福井県は30位台をずっとキープしていて今年も34位ですが、実は終了前日までは三重と並んでいて、最終日に大逆転されました。ここはボートが大変強い県で、最終的に大逆転をされてしまったわけですが、本県もそういう意味では、今までソフトテニスやハンドボールで大きな点を稼いでいたのですが、その辺のところで競技力が若干低下してきているということもありますので、その見直しも含めて、お家芸的なものが何とかできるようなそういうふうなことを考えていきたいと考えています。

委員長

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

- 全委員が本報告を了承する。 -

選挙1 教育委員長の選挙について（秘密会）

三重県教育委員会会議規則第2条第2項の規定による指名推薦の結果、竹下謙委員が次期委員長に決定した。

選挙2 教育委員長職務代理者の選挙について（秘密会）

三重県教育委員会会議規則第3条第1項の規定による指名推薦の結果、井村正勝委員が次期委員長職務代理者に決定した。